

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
体育(男子)	国際交流科	3	3・2		ステップアップ高校スポーツ2018（大修館）

科目の到達目標	各種の運動を通し体力の増強をはかると共に、規則を守り仲間と協力し自己の責任を果たす態度を身につける。また生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	体づくり運動	体ほぐし運動 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体や仲間の体の状態や変化に気づき、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。 運動の特性に応じた学び方や安全の確保の仕方について理解する。
	5	器械運動	マット 鉄棒	<ul style="list-style-type: none"> 規定の運動課題を設定し、課題解決に適した技を系統的に学習し、技術を習得する。
	6	陸上競技	短距離走 走幅跳 持久走	<ul style="list-style-type: none"> 運動の基本である走・跳・投の3つの運動においてバランスよく体力を向上させる方法を理解する。 陸上競技の特性を理解するとともに技術を上達させ、記録を向上させる。
	7	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について理解する。 自己に適した運動機会を持つことや施設の活用について理解する。
二	9	体づくり運動	体ほぐし運動 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体や仲間の体の状態や変化に気づき、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。 運動の特性に応じた学び方や安全の確保の仕方について理解する。
			ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ラケットとボールに慣れ、基本動作や基本技術の練習を通して、ラケットのスイングやボールコントロールの技術を習得させる。 前衛・後衛の基本技術を理解し、基本動作を習得する。
	10	球技（選択）	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> バレーボールに必要な個人技術・戦術や体力を把握し、練習計画をたてる。 ポジションやフォーメーションなどの作戦を立てて、自分のチームの特徴を生かしてゲームを行う。
			卓球	<ul style="list-style-type: none"> 卓球に必要な個人技術・戦術や体力を把握し、練習計画をたてる。 戦略や戦術、攻め方などの作戦を立てて、自分及びペアの特徴を生かしてゲームを行う。
	11	11	球技（選択）	バドミントン
12	体育理論			豊かなスポーツライフの設計の仕方
三	1	体づくり運動	体ほぐし運動 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体や仲間の体の状態や変化に気づき、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。 運動の特性に応じた学び方や安全の確保の仕方について理解する。
			バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> バスケットボールに必要な個人技術・戦術や体力を把握し、練習計画をたてる。 ポジションやフォーメーションなどの作戦を立てて、自分のチームの特徴を生かしてゲームを行う。
	2	球技（選択）	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> リズムやイメージの世界に入って踊ることの楽しさや喜びを味わう。 運動課題に対し、イメージした動きを体で表現する技術を習得する。
3	ダンス			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
	体ほぐしやスポーツに関する関心を高め、積極的に活動に参加する。	自己の能力に適した課題を持ち、その解決に向けて取り組んでいる。	各種運動の個人技能や集団技能が身につけている。	各種運動のメカニズムやルールを理解し、実践に結びつけることができる。
◎評価の方法				
「評価の4観点」に基づいた評価、授業中の発言や取り組む姿勢、スキルテスト、出席状況を総合して評価する。				